

2025 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則  
(東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)  
問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規  
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

## 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 建設技術公開「EE東北'25」に出展

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、2025 年 6 月 4 日（水）～6 月 5 日（木）の 2 日間、みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」（宮城県・仙台市）で開催された建設技術公開「EE 東北'25」に出展いたしました。当イベントにおける出展技術数は 952 技術、総来場者数は 18,700 人でした。

同社はオリエンタルコンサルタンツホールディングスとして株式会社エイテック、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリングを加えたグループ企業 3 社での共同出展を行い、グループとしてのワンストップサービスのアピールも同時に実施しました。同社におきましては、「インフラマネジメントシステム（IMS）」、「スマート防災（防災×3D）」、「アラートシステムを活用した冬期道路管理の高度化」の 3 技術を紹介しました。

ブースには行政、企業、学校関係者など合計 469 名にお越し頂き、盛況のうちに終えることができました。ご来訪いただいた皆様、誠にありがとうございました。

### 《開催概要》

|   |   |                                                                     |                                |
|---|---|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 主 | 催 | ： EE 東北実行委員会（委員長／東北地方整備局企画部長）                                       |                                |
| 開 | 催 | 日 時                                                                 | ： 2025 年 6 月 4 日（水）～6 月 5 日（木） |
| 会 | 場 | ： みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」 屋内展示場及び屋外展示場<br>〒983-0001 仙台市宮城野区港 3 - 1 - 7 |                                |



## インフラマネジメント支援システム(橋梁版)

～自治体の効率的かつ効果的な公共施設マネジメントを支援します～

### ○ インフラマネジメント支援システム(橋梁版)による維持管理の円滑化

- ・「iNOMAD」メイト支援ツールの(橋梁版)は、長寿命化計画に基づいた「実施計画」=「点検」=「診断」=「設計・工事」といった橋梁維持管理業務を円滑に支援します。
- ・xROADとAPI連携し、最新の定期点検結果を基に橋梁長寿命化計画策定を支援します。

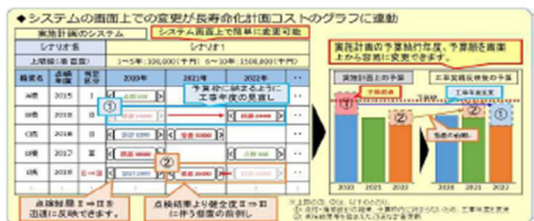


● 機能①：実績を反映し精度の高い予定価格を作成

計画策定時に補修実績を基に予算設定の精度を高め、予算と実工事費の乖離を減少させることで現実合った長寿命化計画の策定が可能。

● 機能②：現場の作業進捗に合わせて工事箇所を自由に組替え

点検結果を反映した計画の見直し、当初計画が変更になっても、簡単な操作で予算の見直し、予算要求資料の作成が可能のため、実施計画作成の効率化が図れます。



○ **ご提案：システム運用・橋梁マネジメントを併走して支援**

システム導入後も、自治体ごとの運用体制やニーズに応じた調整・カスタマイズを行い、マネジメントサイクルに基づく継続的な改善を支援します。



## インフラマネジメント支援システム(舗装版)

～安全と安心を確保する持続的な道路管理を支援します～

## ○舗装長寿命化計画作成のご提案

1. 補助金申請への活用
    - 国からの補助金は、文交会(社会福祉事業費助成金の交付)及び公費負担(公共施設等運営費、推進事業費)活用があるが、その申請に健康長寿化計画を活用することが可能となる。
  2. 計画的な維持管理を实践
    - いつの日に修繕するか、計画されているため、段々には予算で定型的、定率的に修繕を实践することが可能となる。
  3. 抜本的な舗装修繕の実施
    - 路面表層を直すだけでなく、路盤・路床から修繕することで、健康長寿の修繕を行い、舗装の長寿命化を図ることが可能となる。
  4. 本来、職員が担うべき業務に集中
    - 職員の不足、住民対応に対して計画等を活用することで、職員が担うべき仕事に集中し、教育研修、技術伝承などの選択と集中が可能となる。

○舗装長寿命化計画の策定をご支援します



●インフラマネジメント支援システム(構築版) ●デジタルトランスフォーメーションによる維持管理

- 図1 工事費削減の比較**

左側の棒グラフは、工事費削減の比較を示しています。縦軸は「工事費」で、横軸は「年次」です。4つの年次（1, 2, 3, 4）があり、各年次で「標準費」の棒と「削減率」の棒が示されています。削減率は年々増加しています。

右側のクラウドネットワーク図は、クラウドを利用した構築と標準用PCを連携し、情報の建設、更新などがリアルタイムで行えます。

右側のリストは、工事費削減の4つの方法を示しています。

  - 点検頻度を基準に修繕の優先度を割り付けられ、より具体的な工事内容（区分）指定が可能となります。
  - 予算に近づいた工事区間の修繕年次を変えることで、修繕費用の支出が可能です。
  - クラウドを利用し、標準構築と標準用PCを連携し、情報の建設、更新などがリアルタイムで行えます。
  - 任意指定の方法で修繕、道路に1台のみの修繕、災害時緊急の修繕など任意で修繕した修繕の修繕費の削減の作成も、実行が可能です。



## アラートシステムを活用した 冬期道路管理の高度化

スマート防災（防災×3D）

## アラートシステムを活用した 冬期道路管理の高度化

(株)オリエンタルコンサルタンツでは、気象予測データだけでなく、AIカメラによる交通データ、気象データをリアルタイムに収集・処理し、スタックの予兆を検知するアラートシステムについて提案いたします。

## ○ アラートシステムの構築

道路・交通・気象状況をリアルタイムに収集し、制御BOXで処理し、アラート発生閾値を踏まえてアラート(回転灯やメール)を発報する仕組みを構築した。



## ● AI技術を活用した交通状況・道路状況の把握

AIカメラでリアルタイムに交通状況を把握し、AIによる路面予測技術で路面状況を把握することで、暗黙知ではなく形式知としてストックの予兆を検知可能となります。  
また、豪雪時等における緊急体制発動基準の明確化が可能となります。



## スマート防災（防災×DX）

スマート防災では、災害の「自分事化」を促し、強靱化を推進することを目指して、①事前防災、②発災時、③復旧・復興のそれぞれのフェーズに3D都市モデルを活用するものです。

## ○ 事前防災への活用例

内水、河川、高潮、津波などの氾濫シミュレーション  
結果を3D都市モデルに重ねて、時間軸に沿った水  
害リスクの「見える化」により「自分事化」を促進



## ○ 復旧・復興期の活用例

ワンコイン浸水センサで検知した浸水状況の履歴を3D都市モデルに記録することにより、水害の罹災証明書発行を支援



従前：罹災証明書発行のための人力による調査 → ワンコイン浸水センサで取得した浸水履歴から被災水位を表示（3D都市モデル+ワンコイン浸水センサ）



以 上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL:<https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤、日原、丸山、門司